公立刈田綜合病院

人事行政の運営等のあらましと平成17年度の経営状況

白石市外二町組合（公立刈田綜合病院）人事行政の運営等のあらまし

「白石市外二町組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、公立刈田綜合病院職員の任命や給与、勤務状況などについてお知らせします。

詳細については、刈田病院総務課でご覧いただけますのでお問い合わせください。

㊐公立刈田綜合病院総務課 ☎25―2145

1．職員の任免および職員数に関する状況

（1）職員の任免に関する状況（平成17年度）

区　分	医　師	医療技術職	看護職	事務職	労務職	合　計
採　用	4人	3人	18人	3人	0人	28人
退　職	3人	1人	3人	0人	0人	7人

※退職の内訳は普通退職７名です。

（2）職員数の状況（平成18年４月１日現在）

職　種	医　師	医療技術職	看護職	事務職	労務職	合　計
職員数	35人	44人	179人	25人	9人	292人

※医療技術職は、薬剤師、検査技師、放射線技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、栄養士の合計です。
※看護職は、助産師、看護師、准看護師の合計です。

2．職員の給与の状況（平成18年４月１日現在）

（1）平均給料月額、平均給与月額および平均年齢の状況

職　種	医　師	医療技術職	看護職	事務職	労務職	合　計
平均給料月額	514,529円	277,386円	288,423円	305,912円	268,289円	314,738円
平均給与月額	1,292,337円	344,911円	361,189円	348,585円	278,773円	466,727円
平均年齢	48.04歳	38.01歳	38.03歳	41.07歳	46.09歳	40.00歳

※平均給与月額は、平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当、管理職手当、時間外勤務手当、宿日直手当、特殊勤務手当を加えたものです。
※平均年齢の小数点以下は月数を表します。

（2）初任給の状況

職　種	区　分	初任給（円）
行政職	大学卒	170,200円
	短大卒	151,000円
	高校卒	138,400円
医　師		276,000円
医療技術職		138,600～176,100円
看　護　職		151,500～198,800円

（3）手当の状況

ア．期末・勤勉手当

支給時期	期末手当	勤勉手当	計
6月期	1.400月分	0.725月分	2.125月分
12月期	1.600月分	0.725月分	2.325月分
計	3.000月分	1.450月分	4.450月分

イ．主な手当の名称
扶養手当、管理職手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当、夜間勤務手当、特殊勤務手当など

3．職員の勤務時間そのほかの勤務条件の状況

（1）勤務時間の状況（基本的な一日の勤務時間）

勤務時間	開始	休息時間	休憩時間	休息時間	終了
８時間	8:30	10:00～15分間	12:15～13:00	15:00～15分間	17:15

※勤務場所により異なります。

（2）年次有給休暇の取得状況（平成17年中）

職員１人当り平均取得日数
6.3日

※年間20日付与、20日を限度に繰り越し可能です。

（3）そのほかの休暇制度

区分	概　要
病気休暇	公務上の傷病、結核性疾患、公務外の傷病
特別休暇	公民権行使、結婚、忌引、妊産婦母体保護、産前産後、通信教育スクーリング、国などが主催する運動競技会、夏季休暇など
介護休暇	配偶者、子、父母などの介護のため（２週間以上６月以内）
組合休暇	職員団体の業務に従事する場合（１年につき30日以内）

（4）育児休業の取得状況（平成17年度）

男性	女性	合計
0人	10人	10人

※取得期間は無給となります。

4．職員の分限および懲戒処分の状況

（1）分限処分の状況（平成17年度）

区　分	降任	免職	休職	降給	計
心身の故障の場合	0人	0人	1人	0人	1人

（2）懲戒処分の状況（平成17年度）
該当者なし

5．職員の服務の状況

（1）営利企業等従事許可の状況（平成17年度）

区　分	許可件数
報酬を得て事業または事務に従事する場合	20件

※左記許可件数は公共団体などから依頼されたものについて、地方公務員法の規定に基づき許可したものです（乳幼児健診、講師、診療など）。

6．職員の研修および勤務成績の評定の状況

（1）職員の研修の状況（平成17年度）

区　分	研修数	参加人数
院内の研修会（全職員対象）	8	752人
院外の学会・研修会	178	182人

※上記のほかに各職種ごとの研修会を多数実施しています。

（2）勤務成績の評定の概要

区　分	回　数	評　定　時　期
昇給判定	年４回	３月・６月・９月・12月
勤勉手当査定	年２回	５月・11月

7．職員の福祉および利益の保護の状況

（1）健康診断の状況（平成17年度）

区　分	受診者数
定期健康診断	238人
人間ドック	60人

※定期健康診断については一部非常勤職員も含みます。
※上記のほかに特殊従事者（放射線従事者、栄養士）の法定健診を実施しています。

（2）利益の保護の状況（平成17年度）
ア．勤務条件に関する措置の要求の状況　0件
イ．不利益処分に関する不服申し立ての状況　0件
※上記ア、イの状況については、公平委員会の事務を委託している宮城県人事委員会からの報告事項となります。

平成17年度の経営状況 ～診療機能の充実と医療の高度化を図りました～

当病院では、医療ニーズの多様化と高度専門化・細分化される医療情勢の中で、平成17年度も良質かつ適切な医療を効率的に提供できるよう日々努めてきました。

診療機能充実のため、高度医療機器を整備するとともに、土・日・祝日の日当直については、内科系と外科系の２名の医師が診療に当たり、また、平日については、当直医師のほかに救急患者が集中する時間帯（17時15分～22時）に副当直医師を配置して診療に当たるなど、住民の皆様へより充実した救急医療を図ってきました。

患者さんの数は、平成16年度と比較して、延べ数で入院は２、７４０人の減少、外来は５５６人の増加となりました。

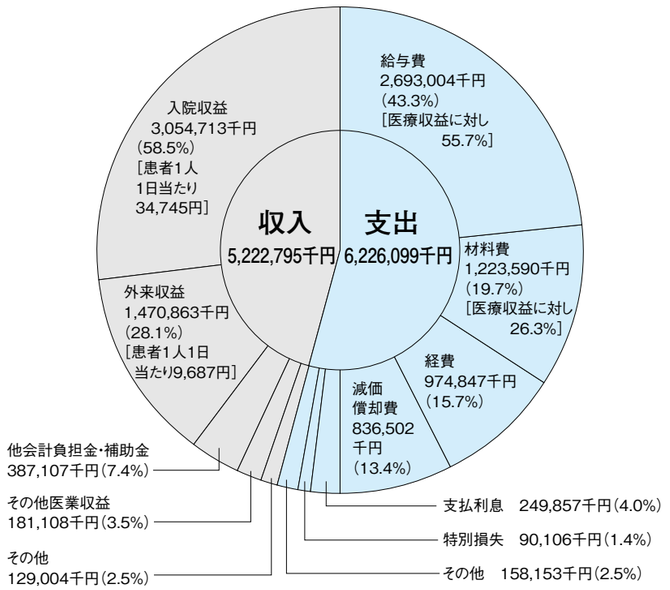
また、収入においては、入院収益で９、７４８万４千円余りの減収、外来収益では２、７２２万３千円余りの減収となり、収入総額は52億２、２７９万４千円余りで、前年と比較して２、２５３万６千円余りの減収となりました。収入の減少には、平成16年度末に耳鼻咽喉科、泌尿器科および循環器科の医師が退職しましたが、医師不足の状況下、その補充が困難を極めていることが反映されています。

一方、支出においては、前年に比べ４、８８２万８千円余りの増加となり、費用総額は62億２、６０９万８千円余りで、収支差し引き10億０、３３０万３千円余りの純損失となり、減価償却費と特別損失（旧病院跡地に係る固定資産除却費）を除いた通常の経営活動による損失は、７、６６９万５千円余りになりました。

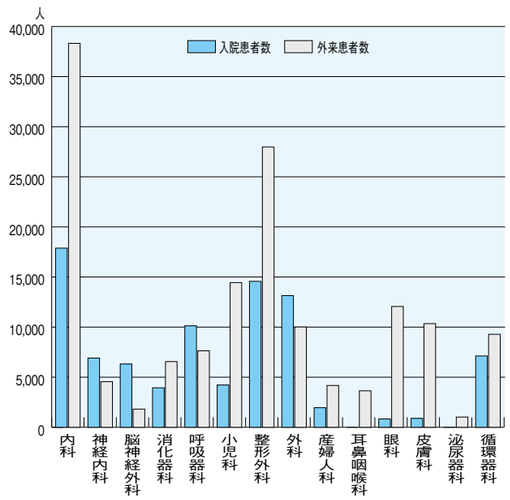
病院経営は依然として厳しい状況が続いていますが、地域住民の医療福祉増進のため、高度・特殊・先駆的医療の充実や地域医療の確保を図るとともに、地域の基幹病院として信頼される病院体制確立のため、職員の資質向上と経費節減に努め、財政基盤の確立と経営の健全化を図り、より質の高い患者サービスを目指していきます。

㊐公立刈田綜合病院経理課 ☎25―2145

平成17年度の収入と支出



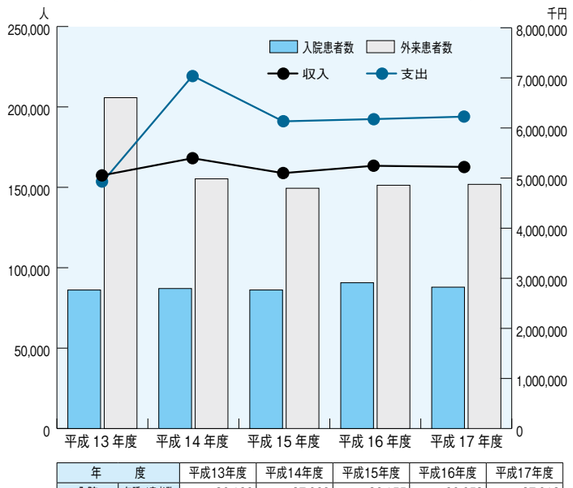
平成17年度診療科別患者数



（単位：人）

科別	内科	神経内科	脳神経外科	消化器科	呼吸器科	小児科	整形外科	外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	循環器科
入院	17,882	6,910	6,316	3,943	10,126	4,221	14,568	13,144	1,957	0	837	891	0	7,123
外来	38,321	4,554	1,815	6,558	7,634	14,443	27,981	10,009	4,174	3,644	12,057	10,348	1,023	9,283

年度別状況



年度		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
入院（人）	年延べ患者数	86,136	87,063	86,155	90,658	87,918
	一日平均	236	239	235	248	241
外来（人）	年延べ患者数	205,732	155,262	149,422	151,288	151,844
	一日平均	840	636	607	623	622
収入（千円）		5,053,927	5,396,600	5,099,202	5,245,331	5,222,795
支出（千円）		4,913,925	7,041,768	6,132,690	6,177,270	6,226,099